

福祉わくや

2022.9
第152号

おらほの良いところ、みーつけた！

下町区おたすけ隊

昨年度まで、涌谷町生活支援体制整備事業の支えあいモデル地区として2年間活動した下町区では、取り組みの一つとして、生活支援の有償ボランティア「下町区おたすけ隊」を立ち上げています。先日、ひとり暮らしの高齢女性からの依頼を受け、おたすけ隊が出動しました。

依頼主の方は庭の手入れができず悩んでいましたが、近所の方が「おたすけ隊に頼んだら良いっちゃ」と提案し、調整してくれました。当日は男女各3名の隊員が集まり男性陣が庭木の剪定や草刈りを行い、女性陣が枝木の片づけや草集めを行うなど、役割分担もバッチリでした。暑さが厳しかったため、こまめに休憩を取り、会話を楽しみながら作業を行いました。

町内で、1番最初に組織的な生活支援活動に取り組み始めた下町区。住民の方の困りごとに寄り添いながら、活動を続けています。



「もっと時間がかか
ると思ったけど、
協力したら、あっ
という間だったね」

支えあおう 

- わたしの居場所、み〜つけた！ 2ページ
災害時要配慮者支援チームとの連動！
- 第2回地域福祉会長連絡会 3ページ
- わくや地域まるごと会議 分科会 4ページ
おらほのベンチ作製ワークショップ開催
- ボランティアセンター通信 5ページ
- 第2回「さくらカフェ」開催！ 6ページ

- 大崎市災害VCへ職員派遣！ 7ページ
共同募金からのお知らせ
- まるごと受け止める社協の相談窓口 8ページ
- 各種お知らせ 9ページ
- おらほの良いところ、みーつけた!! 10ページ
編集後記 等

学びあおう：福祉学習・人材育成等
支えあおう：住民同士の支えあい・相談支援等
通じあおう：交流連携・情報共有等

学びあおう

支えあおう

通じあおう



涌谷町地域福祉活動計画「3つの活動方針」

わたしの居場所、みつけた！

「自分らしくいられる場所」

通じあおう



地域活動支援センター

利用者の皆さんからは
ほえむ
「歩笑夢」という愛称で親
しまれています。

地域活動支援センターは、地域で暮らす障がい(身体・精神・知的)を抱えている方の日常生活や社会生活のサポートをしています。不安や困りごとなどを相談したり、かごバック作りや塗り絵など思い思いの活動を行いながら、自分のペースで穏やかに過ごせる居場所です。畑で野菜を作ったり、スポーツや映画鑑賞などレクリエーションも豊富です。利用を希望される方は、事前に申し込みが必要となりますので、まずはご相談ください。

開設時間：月曜日から金曜日 9:00～15:30

利用料金：無料



おしゃべり広場を開催します

日時 9月30日(金)、10月21日(金) 10:00～11:30

場所 高齢者福祉複合施設ゆうらいふ

参加費 無料

申込不要、出入り自由のサロンです。気軽にお越しください。



問い合わせ先 ☎43-6661(地域活動支援センター)

伝いをしました。
行い、避難のお手
2名の方の移送を
避難所等に2世帯
ムが活動し、福祉
害の際も支援チー
15日からの大雨災
もあります。7月



下、支援チーム」に繋いでいくという機能
福祉事業所の福祉専門職等の協力を得て設
置・運営する「災害時要配慮者支援チーム(以
民の支援では災害時の避難等が行えない方
を事前にピックアップし、涌谷町が町内の
行政・社協との連携により実施しています。
支えあいマップには自力や家族、地域住
自主防災組織代表、地域福祉会長の協力と
更新作業は地域の関係者(自治会長、行政区長、民生委員児童委員、



「おらほの支えあいマップ」わくや」

災害時要配慮者支援チームとの連動！

普段からの見守り活動や災害時の声掛け、避難誘導などを実施するため行政区ごとに作成している「おらほの支えあいマップ」わくや(以下、支えあいマップ)の更新作業を7月から始めました。





地域の声をつなげよう！ ～“いま”だからこそ、できること～

第2回地域福祉社会長連絡会

コロナ禍の影響により活動が制限されるなか、「皆に会えなくて寂しい」「家に閉じこもってばかりで、体が弱りそう」「少人数で良いから集まりたい」など、地域からは多くの声が聞かれていました。住民の声にこたえることは、地域福祉活動実践を考えるうえで非常に重要です。今回の連絡会では、地域の声を把握したあと、どのように活動につなげていくか、今できることは何かを考えました。実際の取り組みとして、7区と上郡1区の地域福祉社会長より、地域のつながりを切らないために工夫した活動について、話題提供もいただきました。

「良い取り組みだね。うちの地域でもやってみよう。」
「こんな課題が出てきそう。」
そのときはどうする？」



※地域福祉社会長とは、会員の中から社会福祉活動に関心と熱意を有する方を行政区毎に社協会長が委嘱します。各行政区において、福祉推進員（福祉活動の担い手）のリーダーとして活動を進めます。

通じあおう



福祉活動の参考書が完成しました！

地域で取り組んでいる支え合いの活動等を「お宝」とし、多くの皆さんに発信するため「わくやのお宝再発見！おらほの支えあい活動実践集2022」を作成いたしました。昨年度は、長引くコロナ禍への不安を抱えながらも、「何かをしたい」という地域の声に応える形で、少しずつwithコロナの活動が増えてきました。そこで、今回は「つながりを切らない」または「新たなつながりをつくる」ため、様々な工夫をしている地域住民・団体・事業所等の取り組みを幅広くご紹介しています。在宅生活を支える資源等のお役立ち情報も掲載していますので、ぜひご覧ください。

わくやのお宝再発見！ おらほの支えあい活動 実践集2022



ホームページにも
PDFデータを掲載しておりますので、
ぜひご覧ください。

涌谷町社会福祉協議会

検索

通じあおう



問い合わせ先 ☎43-6661

(担当：地域支援・ボランティアセンター)



テーマⅢ「生活支援」



移動支援や買い物物支援について、既存の資源では対応が難しい「個のニーズ」への支援を検討しました。

涌谷町は車社会です。今は困っていない人も、いずれ免許返納などで大変になるかもしれません。将来を見据え、今から少しずつ取り組みを進めていきます。

自然な交流やつながりづくりを目的としてスタートした「おらほのベンチ設置プロジェクト」は、順調に進行中です。

今後も活動を広めていくために、どのような支援があれば良いか検討しました。ベンチ活用のアイデアも出され、様々な広がりが生まれていきます。



テーマⅡ「集いの場」

テーマⅠ「見守り活動」



今年度から実施している広域的な取り組み「涌谷町ながら見守りネットワーク」について協議を行いました。

見守る方も見守られる方も大きな負担なく活動できる方法を考え、ながら見守りから、安心して暮らすことができる町へつなげていきます。

共通テーマ：次の世代へのバトンパス！若い世代とつながるために…

三つの分科会で、共通して協議したテーマが「若い世代とのつながりづくり」です。構成員の方からは「自分が若い頃は仕事や家庭が優先で、地域とのつながりは薄かった。自分たちも同じことをしていたのだから、頭を柔らかくしていかなないと何も変わらない」との意見が出ました。

また、子どものうちから地域に関わることで、「涌谷って良い町だな」「大人になったら涌谷に帰ってきて、地域のために何かしよう」と感じてもらうことができるかもしれません。子どもから親世代への広がりも期待できます。若い世代が地域づくりに参画するきっかけづくりとして、まずは生の声を聞く場を持つことを意識しながら、今後も協議を継続していきます。

若い世代とのつながりづくりの一つとして…

おらほのベンチ作製ワークショップ開催

昨年度に引き続き、第2回目の作製ワークショップを開催しました。今回は、初めての試みとして、地域住民とボランティアの涌谷高校生と一緒に作業を行い、講師をお願いした涌谷町シルバー人材センターの大工さんの指導を受けながら、5台のベンチを作製しました。完成したベンチは、各地域の集会所前等に設置されています。

今後も、地域の中に誰もが気軽に利用できるベンチを増やし、住民同士のちょっとした交流のきっかけになるよう取り組みを進めていきます。



令和4年度ボランティア交流会を開催しました！

町内で活動するボランティアグループの代表者等が集まり、約4年ぶりにボランティア交流会を開催し、コロナ禍でも活動が途切れないようにするための工夫などについて、講話やグループワークを通し、考え、学び合いました。

講話では、「未来に向けて、あらためてボランティアについて考えよう！」と題し、社会福祉法人宮城県社会福祉協議会 みやぎボランティアセンター所長の武藤哲哉氏より、ボランティアの基本となる考え方や歴史、県内のボランティア活動事例についてお話しいただきました。その後のグループワークでは、ボランティアを始めたきっかけや、現在の活動状況などについて情報交換を行い、交流を深めました。

涌谷町ボランティアセンターでは、今後もボランティア活動に取り組む方々の「今の声」を聴き、コロナ禍でも工夫しながら、視野を広げた活動ができるようサポートしていきます。

久しぶりの交流会に、会場は大盛り上がり！



話し足りないわ。もっとしゃべりたい！

介護予防ボランティアグループ「もみじ会」が活躍中！

介護予防活動支援事業として、地域で介護予防に関するレクリエーションや体操等を実施するボランティアグループが活躍されています。今回はその活動内容をご紹介します。

「もみじ会」は、平成26年度から涌谷町社協で開催してきた、介護予防「パワーアップ」リーダー養成講座を修了した約200名の方々の中から7名が集まり、立ち上げた介護予防ボランティアグループです。「自分が楽しく、皆さんにも楽しくが伝わるように！」を合言葉に、地域で活動しています。

毎月1回の定例会で、レクリエーションの練習をしています。



皆さんと一緒に楽しく活動します。

地域からの依頼を受けて、お茶っこ飲み会や運動ひろばへ出向きます。



「認知症になっても地域で支え合い、住み慣れた地域で暮らし続けるために」



第2回「さくらカフェ」開催！



今回のカフェでは、前半にデコクレイクラフト(装飾粘土工芸)のワークショップを実施し、創作活動を通し、コミュニケーションを図りました。後半には、「認知症をプラスに考えよう！」をテーマに、NPO法人ひまわり理事長の津田三枝子氏より講話をいただきました。「自宅での介護は24時間、主介護者の方の気が休まる時間がなく、疲れてしまう。『責任もって介護をしなきゃ！』と一人で抱え込まず、専門職、介護サービス、地域の方に相談してほしい。認知症の方一人ひとりに対し、個性を尊重した関わり方があり、当事者も介護者も気持ちを楽しんで進んでいける」とのメッセージが伝えられました。認知症をマイナスに捉えず、プラスの側面を考える機会となりました。

さくらカフェが目指しているのは、日々の生活の中でホッと一息つける場所です。皆で楽しく認知症について学び、話をしながら、穏やかな時間を過ごしましょう。多くの方のご参加をお待ちしております。



次回

日時 10月28日(金) 10:00~11:30

場所 ゆうらいふ 多目的ホール

内容 講話「私の介護経験談」
「認知症の方への対応の仕方」

講師 公益社団法人認知症の人と家族の会
宮城県支部

参加費 100円

支えあおう



申し込みは不要です。お気軽にご参加ください！

※新型コロナウイルス等の状況により開催が延期または中止になる場合があります。

問い合わせ先 ☎43-6661(地域支援・ボランティアセンター)

涌谷高校で認知症サポーター養成講座を開催！

学びあおう



7月20日(水)、涌谷高校の福祉科目を専攻している3年生4名が認知症サポーター養成講座を受講しました。

当日は、認知症サポーターキャラバンメイトから、認知症の正しい理解と、偏見を持たずに認知症の人や家族を見守るサポーターとしての役割について説明がありました。ゆっくりとやさしく、笑顔で相手のペースに合わせて接することを講話や寸劇を通して学びました。

講座の終了後に、サポーターの証である「認知症サポーターカード」が配付され、元気いっぱいの高校生サポーターが誕生しました。今後は地域での活躍に期待しています！

また、講座で学んだ知識を生かし、今後はさくらカフェ(認知症カフェ)にボランティアとして参加していただく予定です。



認知症への支援

「3つのない+1」

- 1 驚かせない
- 2 急がせない
- 3 自尊心を傷つけない
- 4 否定しない

大崎市災害ボランティアセンターへ職員派遣！

大崎市では7月15日から大雨により被災された市民の生活再建を支援するため、7月20日から災害ボランティアセンターが開設されました。

涌谷町社会福祉協議会では計6日間、古川地区、岩出山地区に職員派遣を行い、現地調整等の運営支援を行いました。

※平成26年に宮城県内の社会福祉協議会間で災害時相互支援協定を結び、オールみやぎとなって災害支援体制の確立等を目指した取り組みが進められています。

写真提供：一般社団法人OPEN JAPAN



共同募金からのお知らせ

令和4年7月、8月大雨災害義援金を募集します



7月及び8月の大雨により、大崎市や松島町をはじめ各地で甚大な被害が発生しました。涌谷町共同募金委員会では、被災者支援の一助のため、義援金の募集受付を行います。

なお、受け付けた義援金は宮城県共同募金会または中央共同募金会へ送られ、被災状況に応じた按分率に基づき、被災者へ配分されます。

▽口座振込での募金

(1) 大崎市及び松島町への募金（宮城県共同募金会経由）

七十七銀行 県庁支店 普通 5017839

宮城県共同募金会 令和4年7月大雨災害義援金 会長 加藤睦男

(2) その他の被災県への募金（中央共同募金会経由）

三井住友銀行 東京公務部支店 普通 0162529 (福) 中央共同募金会 災害義援金口

りそな銀行 東京公務部支店 普通 0126781 (福) 中央共同募金会

※各同行本支店窓口からの送金は手数料無料

▽現金での募金

涌谷町共同募金委員会(事務局：涌谷町社協内)にて受付いたします。

※特定の被災県へ義援金を送りたい方は、当該県共同募金会のホームページをご確認ください。

(山形県共同募金会、新潟県共同募金会、福井県共同募金会、石川県共同募金会)

令和4年度赤い羽根共同募金運動へのご協力について

町民の皆様には、共同募金運動に対しご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。

今年度も10月1日から誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう「じぶんの町を良くするしくみ。」として、赤い羽根共同募金運動が全国的に展開されます。

涌谷町共同募金委員会においても、皆様の地域の共同募金奉仕委員(行政区長)を中心に募金運動を展開いたします。共同募金へのご協力は任意となっております。無理のない範囲でのご協力をお願い申し上げます。

赤い羽根共同募金の使いみち(例)

子育て世代の支援のために



エプロンおばさんと遊ぶ広場の開設

生活でお困りの方の支援のために



フードバンク事業の実施

地震・台風等の災害ボランティア活動に



災害ボランティアセンターの運営

まるごと受け止める社協の相談窓口

生活相談・
支援センター

「どこに相談したらいいかわからない」というような不安、心配、困りごとはありませんか？近所に心配な方がいる、お金の不安がある、子育て、介護のお悩み等、職員がお話をお聞きし、困りごとを整理して一緒に解決方法を考え、内容に応じて適切な支援機関にお繋ぎします。来所が困難な方は訪問いたしますので、まずはご連絡ください。秘密や個人情報は必ず守ります。

日常生活で困りごとのある方へ 生活相談員による生活相談所

「毎日の生活が不安」「仕事のことで悩みがある」「今後どうしたらいいかわからない」等、ひとりで悩まず、まずはご相談ください。

日程・場所

9/28(水)・笠岳地域ケアセンター

10/26(水)・ゆうらいふ

時間

13時～15時(予約不要)



新型コロナウイルス感染症の影響で生活費に お困りの方へ(特例貸付のお知らせ)

対象：新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少し、一時的な貸付が必要な世帯や生活の維持が困難な世帯 等

緊急小口資金特例貸付

貸付限度額：200,000円以内

総合支援資金特例貸付

貸付限度額：月150,000円～200,000円以内

いずれも申込期限は9月末まで。

要件等の
詳細はお問い合わせ
下さい。

お福分け事業実施中 ～食料品を無料配付します～

新型コロナウイルス感染症などの影響で生活が苦しい世帯(涌谷町内在住の方)へ、食料品を無料配付します。

提供期間

・10/17(月)～22(土)

9時～17時

場所

ゆうらいふ



※内容は変更する場合があります。

注意事項

- ・事前に電話での予約をお願いいたします。
- ・各月100セット限定になりますので、最終日を待たず早期終了する場合があります。
- ・各月1回、一世帯あたり1セットを配付します。

新型コロナウイルス感染症の影響で 自宅待機されている方へ ～食料品をお届けします～

新型コロナウイルス感染症により自宅療養・自宅待機をされている方へ、無料で食料品をお届けします。

配達日時 月～金曜日 10時～16時頃
(祝祭日除く)

配達方法 玄関前にお届けします
(対面はしません)

申込方法 電話、メールでお申し込み下さい
氏名、住所、電話番号、世帯の人数等をお知らせください。

- ・本事業で知り得た個人情報は本事業でのみ使用し、厳重に管理いたします。

「フードドライブ」にご協力ください！

フードドライブとは、ご家庭で余っている食べきれない食品を持ち寄り、必要としている世帯へ提供する取り組みです。

※当会では、寄付して頂いた食品を、フードバンク事業を介し経済的な理由等で困っている世帯へ提供を行っています。

募集食品 2か月以上賞味期限が残っており、常温保存が可能な食品

場所 ゆうらいふ正面玄関ホール、涌谷公民館

※お持ち寄り頂いた食品は設置してあるBOXに入れてください。

※米など重い食品は取りに伺うことも可能です。お問合せください。



涌谷公民館

申し込み・問い合わせ先 生活相談・支援センター [☎43-6661 e-mail mail20@wakuya-sfk.net]

講演会のお知らせ

『生きる』ってたいへん! でも…～いろんな人がいて いいんだよ～

講師: 岩倉 政城 氏(尚絅学院大学名誉教授)

複雑な社会の中で、学校に行けない・社会に出られないなど、何かしらの思いを抱え、悩んだり、苦しんだりしているご本人・ご家族・支援者の方、ぜひ講演会に参加してみませんか? もしかしたら少し視点を変えることで、気持ちが軽くなるかもしれません。

【日時】 令和4年9月17日(土) 14時～16時(開場:13時30分)
【会場】 涌谷公民館 交流ホール
【定員】 100名(事前申し込みが必要です)
【申込期間】 9月9日(金)まで ※定員になり次第締め切り
【共催】 まちかど保健室・涌谷町福祉課・涌谷町社会福祉協議会
【問い合わせ・申込先】

まちかど保健室 ☎090-2985-4051
 涌谷町福祉課子育て支援室 ☎25-7906
 涌谷町社会福祉協議会 ☎43-6661



お知らせ

心温まる善意ありがとうございました

(6月24日から8月25日)

▽寄附金

・匿名様

・匿名様

▽フードバンク事業のため

・フードドライブ(7月分)

10万円

1kg

子育て支援事業「エプロンおばさん
と遊ぼう広場」を開催しています

未就学の子どもたちとその保護者を対象に、自由遊びや子育て相談を通して、交流を図る場としています。参加費・申込不要です。

▽日時 毎週木曜(祝祭日・年末年始除く)

10時～11時30分

▽場所 ゆうらいふ多目的ホール

▽問い合わせ先 ☎43-6661

生活相談・支援センター

一般介護予防事業「長寿お達者教室」を開催しています

楽しく脳トレや体操をしながら、皆でたくさん笑いあえる「長寿お達者教室」に参加して、アタマとカラダ、そしてココロをほぐし、元気を保ちましょう!

▽場所、日程

① ゆうらいふ 9月7日、10月5日

② 涌谷公民館 9月14日、10月12日

▽時間 10時～11時30分

▽持ち物 運動しやすい服装、飲み物、マスク、鉛筆等

▽参加費 100円(申込不要)

▽問い合わせ先 ☎43-6661

地域支援・ボランティアセンター

看護職員募集のお知らせ

社協と一緒に働きませんか? 興味のある方、お気軽にお問い合わせください。

看護職員(正職員)

給与 187,200円～236,400円

手当 資格手当5,000円～7,000円、通勤手当、その他規定による

勤務 4週9休のシフト制

資格 看護師または准看護師のいずれか

看護職員(臨時職員)

給与 時給1,250円～1,600円

手当 通勤手当日額1,300円(上限)

勤務 4週9休のシフト制

資格 看護師または准看護師のいずれか

※詳細は下記までお問い合わせください。

問い合わせ先 ☎43-6661

社会福祉士の実習生が大活躍!

7/4～8/4まで、社会福祉士の実習生2名の受け入れを行いました。実習期間中は、様々な事業に参加させていただき、地域の皆様にも大変お世話になりました。これからのお二人の活躍を期待しています。



おらほ

良いところ みつけた!!



各行政区の地域福祉会からご報告いただいている活動や、生活支援コーディネーターが取材した活動等を掲載しておりますが、地域には職員が知らない活動がまだまだたくさんあります。「こんなのもやってるでば!」「おらほさ来てけさいん」とぜひお声がけください。



4区

「運動ひろばがあるから外に出られる」と参加者の方にとって大切な場になっています。



5の1区

ボックスティッシュとマスクを配付しながら、見守り訪問活動を行いました。



八雲区

平成22年から継続している運動ひろばです。週1回集まり、楽しく体を動かしています。



上小塚区

恒例行事の追戸横穴古墳清掃の後は、世代間交流の夏祭り! 2年ぶりの開催でした。



脇区

ゆうらいふのケアマネジャーを講師に、介護保険の仕組みについて学びました。



吉住区

パウダーアートで素敵な作品を作りました。自宅に飾って楽しめる、形に残る思い出です。

編集後記

日本の山々を自分の足だけで移動し次々と踏破するNHK・BSの番組を好んで観ている。初めはその登山家の逞しい姿に目を奪われていたが、次第に、険しい山道や雪深い斜面で一瞬の息づかいをも逃すまいとファインダーを覗き、どこまでも伴走するカメラマンを想像するようになった。テレビを消し、改めてそのカメラマンの動きを考えたとき、それは福祉を必要とする人たちに寄り添って支援する多くの方々の姿にとても似ていると気づいた。そうした取り組み満載の今号をじっくりご覧ください。

広報委員

ボランティアグループ
「おけぼの会」

【朗読テープの貸し出し】

町広報・社協だよりの朗読テープを無料で貸し出しています。視覚障がい者の方、介護者の方など、お気軽にご利用ください。

▽問い合わせ先 ☎43-6661
(地域支援・ボランティアセンター)

社協だより
福祉わくや

2022.9
第152号

通じあおう



編集・発行
ふれあいネットワーク
社会福祉士会浦谷町社会福祉協議会

〒987-0121

宮城県遠田郡涌谷町涌谷字新下町浦192番地
涌谷町高齢者福祉複合施設「ゆうらいふ」内
TEL(0229)43-6661 FAX(0229)43-6670
E-mail:shakyo@wakuya-sfk.net
ホームページ: http://www.wakuya-sfk.net/